

資料 4 安全防護設備の一例



防護柵の扉部分
(金網付き、プラグスイッチ付き)

細かい網なので、指先程度しか柵内に入らず、危険源が防護柵から数cm内側にあっても、防護できる。

(詳しくは、JIS B 9707:2002
「危険区域に上肢が到達することを防止するための安全距離」を参照。)

使用上の情報
(防護柵内に進入する際の
プラグスイッチの取り扱い)
の明記



プラグスイッチ
(左側の取っ手を持ってプラグを
引き抜くと電源が遮断される。
このプラグを携帯して防護柵内
に入れば、他者が電源を投入す
ることができないので、安全が
確保できる。)